

南日本運輸倉庫グループのDENBADISS株式会社、宮古島市の「鮮度保持技術導入実証事業」 (令和6年度公募型プロポーザル) を受託

DENBADISS株式会社（本社：埼玉県戸田市、代表取締役社長：大園圭一郎、以下、DENBADISS）は、「令和6年度 宮古島市鮮度保持技術導入実証事業」を受託しましたことをお知らせいたします。沖縄県では特産品の域外流通始め、島内における消費食材の安定供給の視点からコールドチェーンの更なる強固な構築が必要と掲げており、宮古島市では鮮度保持技術を加味した新たなコールドチェーン実証事業へと着手いたしました。同市では、マンゴー、メロン、ゴーヤ、トマト、ピーマンなど多様な農作物が生産・出荷されており、域外流通においては鮮度を保つため航空輸送を主な輸送手段としていますが、本実証事業においては海上輸送による鮮度保持輸送の実現と、空輸から海上輸送への切り替えによる物流コストの抑制を目指しています。



宮古島市市長室にて撮影 宮古島市 座喜味一幸市長（中央）
DENBADISS(株) 代表取締役社長 大園圭一郎（右）、同社 取締役 新藤直人（左）



マンゴー農園視察



実証事業に使用される鮮度保持コンテナ